

Q6：健診全体についてお訊ねします。

Q6_1：集団健診の会場についてお訊ねします（該当するもの一つに○）。

1. すべて保健センターなど常設の施設で実施
2. その都度地区へ出向いて、会場を借り上げて実施
3. 保健センターおよび地区で会場を借り上げて実施（1、2の併用）

Q6_2. 駐車場の利用は可能ですか（該当するもの一つに○）。

1. すべての会場で可能
2. すべての会場で可能だが不足
3. 会場によっては不可
4. すべて不可

Q6_3:集団健診日の設定についてお訊ねします。健診日の設定は(該当するものすべてに○)。

1. 平日の午前
2. 平日の午後
3. 必要に応じて平日午前、午後ともに実施
4. 土曜日にも実施している
5. 日曜日にも実施している
6. 土・日実施の計画がある

Q6_4：健診の周知方法はどのようにしていますか（該当するものすべてに○）。

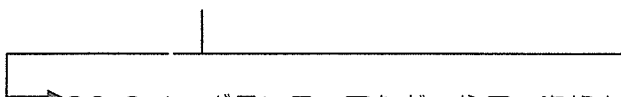
1. 健診通知を個人宛に発送する
2. 広報、チラシで周知する
3. 町内会等の回覧板で通知する
4. スーパーやコンビニなどの掲示板に掲示して周知する
5. インターネットのホームページに掲載して周知する
6. 愛育班員や母子保健推進員他の保健委員が戸別にチラシを配る
7. その他（ ）

Q6_5：健診会場内に以下のスペースを用意していますか（該当するもの一つに○）。

	1. すべての 会場で用意 してある	2. 会場によ っては用意 してある	3. 全く用意 していない
1. 子どもが待ち時間を過ごせる遊びのスペース	(1)	(2)	(3)
2. 子どもの玩具、絵本	(1)	(2)	(3)
3. 幼児用のトイレ	(1)	(2)	(3)
4. 乳児を連れて入れるベビーホルダー付きのトイレ	(1)	(2)	(3)

Q6_6：健診時にボランティアなどの住民を配置していますか。

1. 常時配置している
2. ときどき配置している
3. 配置していない



Q6_6_1：ボランティアなどの住民の資格を教えてください（該当するものすべてに○）。

1. 子育て支援者（サポーター、パートナー、アドバイザーなど）の研修修了者
2. 母子保健推進員
3. 愛育班員
4. その他（ ）

Q6_7:食生活や栄養について、指導や相談を実施していますか(該当するものすべてに○)。

1. 受診者全員(集団)に実施
2. 受診者全員(個人)に実施
3. 必要性の認められるケースに実施
4. 希望者に実施
5. 実施していない

1~4を選択された方は、Q6_7_1 および Q6_7_2 にお答えください。

→Q6_7_1:主な担当者は誰ですか(該当するもの一つに○)。

1. 保健師
2. 栄養士
3. その他()

→Q6_7_2:「食育」の視点を加えていますか(該当するもの一つに○)。

1. はい
2. わからない
3. いいえ

Q6_8:健診時の専門職種間の連携についてお教えてください(該当するものすべてに○)。

1. 保健師が各専門職間を調整して回っている
2. その都度、それぞれの専門性の中で解決するようにし、とくに調整はしていない
3. 健診終了後、担当した専門職種(医師、歯科医師、保健師、心理士、栄養士など)が集まり、カンファレンスを開き、情報交換をしている
4. その他

Q6_8:4. その他の連携に関してのご意見や工夫をお聞かせください。

Q7:各健診の平成16年度の受診率についてお教えてください。

1. 3~4カ月児健診 ()%
2. 1歳6カ月児健診 ()%
3. 3歳児健診 ()%

Q8:未受診児のうち、未受診の理由が把握できたものの割合を教えてください。

1. 3~4カ月児健診 ()%(未受診児数に対する割合)
2. 1歳6カ月児健診 ()%(未受診児数に対する割合)
3. 3歳児健診 ()%(未受診児数に対する割合)

Q8_1:未受診児把握のためにどのような努力をしておられますか(該当するものすべてに○)。

1. 未受診児に電話をして、未受診の理由、発達、育児上の問題について確認する
2. 電話で連絡がとれなかった場合は他の手段は用いずに訪問する
3. 電話で連絡がとれなかった場合は手紙などの他の手段を用いて確認する
4. 電話や手紙などで確認がとれなかった場合には、最終手段として訪問する
5. 健診のお知らせやアンケートに、未受診の場合には返信をもらうようにしてある
6. 保育園と連携をとり、入園児の中の未受診児を把握している
7. その他()

Q8_2：未受診児の把握方法別にみると、それぞれ、およそどのくらいの把握率（未受診児全数に対する）でしょうか（該当する項目のみで結構です）。

健診/把握方法	1.電話	2.家庭訪問	3.手紙	5.通知の返信	6.その他
1. 3～4カ月児	%	%	%	%	%
2. 1歳6カ月児	%	%	%	%	%
3. 3歳児	%	%	%	%	%

（各把握方法が重複する場合もありますが、そのまま延べ数で記載してください。）

Q8_3：未受診児の中に、虐待に至ったケースが含まれていましたか（該当するもの一つに○）。

1. ある 2. 今のところはない 3. 注意していない

Q8_4：「子ども・子育て応援プラン」で乳児健診未受診児など生後4か月までに全乳児の状況の把握がうたわれ、全市区町村で実施するとされています。貴市区町村では特別な方策をお持ちでしょうか（該当するもの一つに○）。

1. 方策がある 2. 方策を検討中である 3. とくになし

→ Q8_4_1：「1. 方策がある」とお答えいただいた市区町村はその内容を簡単に結構ですので、以下に記入してください。あるいは、資料を添付していただいても結構です。

自由に記載をお願いします。

Q8_5：以下のような工夫はされていますか（該当するものすべてに○）。

1. 医療機関と連携をとり、低出生体重児を把握している
2. 市区町村の事業として低出生体重児を把握している
3. 広報により母子保健事業のお知らせや相談窓口を周知している
4. 転入・転出児は、転入・転出先の担当保健師と連絡をとっている
5. 在日外国人子弟について、その子育てや健康管理にとくに配慮している
6. 新生児の全数把握に努めている
7. 里帰り出産の把握に努めている（里帰りにより他地域で出産した住民）

乳児健診（3～4カ月児健診）

Q13: 乳児健診における対象の把握はどのようにしておられますか(該当する主なもの一つに○)。

1. 住民基本台帳から
2. 出生通知書から
3. 別途作成した児童台帳
4. その他 ()

Q14: 乳児健診の実施方法についてお教えてください(該当するもの一つに○)。

1. 集団
2. 個別委託
3. その他 ()

→ Q14_1: 乳児健診を担当する医師の確保はどのようにしていますか

(該当するものすべてに○)。

1. 地域医師会に一任
2. 独自に確保している
3. 医療機関や医学系大学と提携
4. 当該自治体に勤務する医師
5. その他 ()

→ Q14_2: 乳児健診を担当する医師の診療科はどのように決めていますか

(該当するもの一つに○)。

1. 医師会に一任している
2. 小児科医に決めている
3. 内科/小児科標榜医に決めている
4. 診療科は問わない

→ Q14_3: 乳児健診担当医と他のスタッフとの連携はとっておられますか

(該当する主なもの一つに○)。

1. 連携は全くなし
2. 保健師がコーディネートしている。
3. ケースカンファレンスに同席してもらう
4. その他 ()

→ Q14_4: 医師(健診担当医)と保健師以外の乳児健診に従事する専門スタッフを教えてください(該当するものすべてに○)。

1. 保育士
2. 栄養士
3. 心理士
4. 精神科医師
5. 看護師
6. 助産師
7. 歯科衛生士
8. その他 ()

→ Q14_5: 乳児健診内容について、該当するものを選んでください(該当するものすべてに○)。

1. 問診
2. 小児科診察
3. 集団指導
4. 個別保健相談
5. 心理相談(全員)
6. 心理相談(必要なケース)
7. 栄養相談(食育を含む)
8. 必要に応じて精神科医師の面談
9. 助産師による母乳相談
10. グループワーク
11. その他 ()

Q14_6: 乳児健診の重点目標を何にしていますか。委託健診も含めてご回答ください

(該当するものすべてに○)。

1. 疾病の早期発見
2. 育児不安の発見と軽減
3. 虐待の早期発見
4. 親同士の交流
5. 健康教育
6. 発達の評価
7. 栄養指導(食育を含む)
8. 予防接種指導
9. 歯科保健
10. 親子の関係性の評価
11. 父親の育児への参加

Q14_6で、とくに力を入れている取り組みがあれば教えてください(資料添付でも結構です)。

Q14_7：平成 16 年度の乳児健診の実施回数と 1 回の受診数の平均を教えてください
(集団方式の場合のみ)。

- 1) 健診の実施回数は年 () 回
- 2) 1 回の平均受診数は () 人

Q14_8：乳児健診で育児不安に関するスクリーニングをしていますか。

- 1. はい
- 2. いいえ

→Q14_8_1：スクリーニングの方法について該当するものすべてに○を付けてください。
アンケートの白紙のサンプルを返信にご同封いただきたく存じます。

- 1. 独自に作成したアンケート
- 2. 他機関で利用しているアンケートの転用
- 3. 市販のツール(愛研式など)を利用している (名称: _____)
- 4. 日本語版エジンバラ(EPSPD)を単独で使用している
- 5. 日本語版エジンバラと他のアンケートとの併用
- 6. 問診の中で聞き取っている
- 7. その他 ()

Q14_9：乳児健診で親子関係に関するスクリーニングをしていますか。

- 1. はい
- 2. いいえ

→Q14_9_1：スクリーニングの方法について該当するものすべてに○を付けてください。
アンケートの白紙のサンプルを返信にご同封いただきたく存じます。

- 1. 独自の育児不安のスクリーニング用アンケートの中に項目を含めている
- 2. 親子関係に関する独自のアンケートを作成している
- 3. 他機関で利用しているアンケートを転用している
- 4. 市販のツールを利用している(名称: _____)
- 5. 問診の中で聞き取っている
- 6. その他 ()



1歳6カ月児健診

Q15：1歳6カ月児健診における対象の把握についてはどのようにしておられますか（該当する主なもの一つに○）。

1. 住民基本台帳から
2. 別途に作成した児童台帳から
3. 健診個人ファイル（健診カード）から
4. その他（ ）

Q16：1歳6カ月児健診の実施方法についてお教えてください（該当するもの一つに○）。

1. 集団
2. 個別委託
3. その他（ ）

→ Q16_1：1歳6カ月児健診を担当する医師の確保はどのようにしていますか（該当するものすべてに○）。

1. 地域医師会に一任
2. 独自に確保している
3. 医療機関や医学系大学と提携
4. 当該自治体に勤務する医師
5. その他（ ）

→ Q16_2：1歳6カ月児健診を担当する医師（歯科健診は別）の診療科はどのように決めていますか（該当するもの一つに○）。

1. 地域医師会に一任している
2. 小児科医に決めている
3. 内科／小児科標榜医に決めている
4. 診療科は問わない

→ Q16_3：1歳6カ月児健診担当医と他のスタッフとの連携はとっておられますか（該当する主なもの一つに○）。

1. 連携は全くなし
2. 保健師がコーディネートしている
3. ケースカンファレンスに同席してもらう
4. その他（ ）

→ Q16_4：健診担当医師と保健師以外の1歳6カ月児健診に従事する専門スタッフを教えてください（該当するものすべてに○）（歯科健診は別）。

1. 保育士
2. 栄養士
3. 心理士
4. 精神科医師
5. 看護師
6. 助産師
7. その他（ ）

→ Q16_5：1歳6カ月児健診（歯科健診は別）内容について、以下の中から該当するものすべてに○を付けてください。

1. 問診
2. 小児科診察
3. 集団指導
4. 個別相談
5. 心理相談（全員）
6. 心理相談（必要なケース）
7. 栄養相談（食育を含む）
8. 必要に応じて精神科医師の面談
9. グループワーク
10. その他（ ）

→ Q16_6：1歳6カ月児健診の重点目標を何にしていますか（該当するすべてに○）。

1. 疾病の早期発見
2. 育児不安の発見と軽減
3. 虐待の早期発見
4. 親同士の交流
5. 健康教育
6. 発達の評価
7. 栄養指導（食育を含む）
8. 予防接種指導
9. 歯科保健
10. グループ活動への参加勧奨
11. 発達障害の早期発見
12. 親子の関係性の評価
13. 父親の育児への参加

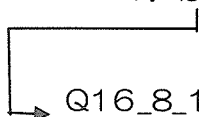
とくに力を入れている取り組みがあれば教えてください（資料の添付でも結構です）。

Q16_7：平成 16 年度の 1 歳 6 カ月児健診の実施回数と 1 回の受診数の平均を教えてください（集団方式の場合のみ）。

- 1) 健診の実施回数は年 () 回
- 2) 1 回の平均受診数は () 人

Q16_8：1 歳 6 カ月児健診で育児不安に関するスクリーニングをしていますか。

1. はい
2. いいえ

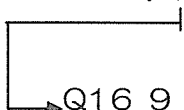


Q16_8_1：スクリーニング方法について該当するものすべてに○を付けてください。
アンケートの白紙のサンプルをご返信にご同封いただきたく存じます

1. 独自に作成したアンケートを使用
2. 他機関で利用しているアンケートの転用
3. 従来から使用している子どもの発達などに関するアンケートの項目を活用
4. 市販のツール（愛研式など）を利用している（名称：_____）
5. 問診の中で聞き取っている
6. その他具体的に ()

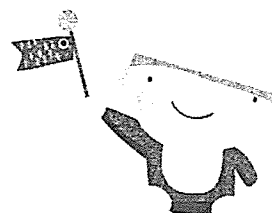
Q16_9：1 歳 6 カ月児健診で親子関係に関するスクリーニングをしていますか。

1. はい
2. いいえ



Q16_9_1：スクリーニングの方法について該当するものすべてに○を付けてください。
アンケートの白紙のサンプルを返信にご同封いただきたく存じます。

1. 独自の育児不安のスクリーニング用アンケートの中に項目を含めている
2. 親子関係に関する独自のアンケートを作成している
3. 他機関で利用しているアンケートを転用している
4. 市販のツールを利用している（名称：_____）
5. 従来から使用している子どもの発達などに関するアンケートの項目を活用
6. 問診の中で聞き取っている
7. その他 ()



Q16_10：1歳6カ月児健診で子どもの発達や心理的問題に関するスクリーニングをしていますか。

1. はい 2. 健診担当医に任せている 3. いいえ

→ Q16_10_1：スクリーニングの方法について該当するものすべてに○を付けてください。
アンケートの白紙のサンプルを返信にご同封いただきたく存じます。

1. 独自のスクリーニング用アンケートを使用している
2. 他機関で利用しているアンケートを転用している
3. 従来から使用している子どもの発達などに関するアンケートの項目を活用
4. 市販のツールを利用している（デンバーⅡなど）（名称：_____）
5. 問診の中で聞き取っている
6. その他（ _____ ）

Q16_11：発達障害児の早期発見のための対策は立てていますか（該当するもの一つに○）。

1. 質問紙を用いてスクリーニングしている（白紙のサンプルを同封してください）
2. 健診時の問診や行動観察で見分けている
3. 発達障害の疑いのある児のための特別な健診を用意している（発達相談など）
4. とくに対策は立てていない
5. 検討中である
6. その他の対策（ _____ ）

Q16_12：食育の視点を加えた生活指導や栄養指導をしていますか。

1. はい 2. わからない 3. いいえ

→ Q16_12_1：主な担当者は誰ですか（該当するもの一つに○）。

1. 栄養士 2. 保健師 3. その他（ _____ ）



3歳児健診

Q17: 3歳児健診における対象の把握はどのようにしておられますか(該当する主なもの一つに○)。

1. 住民基本台帳から
2. 別途作成した児童台帳
3. 健診個人ファイル(健診カード)から
4. その他()

Q18: 3歳児健診の実施方法についてお教えてください(該当するもの一つに○)。

1. 集団
2. 個別委託
3. その他()

→ Q18_1: 3歳児健診を担当する医師(歯科健診は別)の確保はどのようにしていますか(該当するものすべてに○)。

1. 地域医師会に一任
2. 独自に確保している
3. 医療機関や医学系大学と提携
4. 当該自治体に勤務する医師
5. その他()

→ Q18_2: 3歳児健診を担当する医師の診療科(歯科健診は別)はどのように決めていますか(該当するもの一つに○)。

1. 医師会に一任している
2. 小児科医に決めている
3. 内科/小児科標榜医に決めている
4. 診療科は問わない

→ Q18_3: 3歳児健診担当医と他のスタッフとの連携について該当する主なもの一つに○を付けてください。

1. 連携は全くなし
2. 保健師がコーディネートしている
3. ケースカンファレンスに同席してもらう
4. その他()

→ Q18_4: 健診担当医師と保健師以外の3歳児健診に従事する専門スタッフを教えてください(該当するものすべてに○)(歯科健診は別)。

1. 保育士
2. 栄養士
3. 心理士
4. 精神科医師
5. 看護師
6. 助産師
7. その他()

→ Q18_5: 3歳児健診(歯科健診は別)の内容について(該当するものすべてに○)。

1. 問診
2. 小児科診察
3. 集団指導
4. 個別相談
5. 心理相談(全員)
6. 心理相談(必要なケース)
7. 栄養相談(食育)
8. 必要に応じて精神科医師の面談
9. グループワーク
10. その他()

→ Q18_6: 3歳児健診の重点目標を何にしていますか(該当するものすべてに○)。

1. 疾病の早期発見
2. 育児不安の発見と軽減
3. 虐待の早期発見
4. 親同士の交流
5. 健康教育
6. 発達の評価
7. 栄養指導(食育)
8. 予防接種指導
9. 歯科保健
10. グループ活動への参加勧奨
11. 発達障害の発見
12. 親子の関係性の評価
13. 父親の育児への参加

Q18_10：3歳児健診で子どもの発達や心理的問題に関するスクリーニングをしていますか。

1. はい 2. 健診担当医に任せている 3. いいえ

→Q18_10_1：スクリーニングの方法について該当するものすべてに○を付けてください。

アンケートの白紙のサンプルを返信にご同封いただきたく存じます。

1. 独自のスクリーニング用アンケートを使用している
2. 他機関で利用しているアンケートを転用している
3. 従来から使用している子どもの発達などに関するアンケートの項目を活用
4. 市販のツール（デンバーⅡなど）を利用している（名称：_____）
5. 問診の中で聞き取っている
6. その他（_____）

Q18_11：食育の視点を加えた生活指導や栄養指導をしていますか。

1. はい 2. わからない 3. いいえ

→Q18_11_1：主な担当者は誰ですか（該当するもの一つに○）。

1. 栄養士 2. 保健師 3. その他（_____）

Q18_12：発達障害児の早期発見のための対策は立てていますか（該当するもの一つに○）。

1. 質問紙を用いてスクリーニングしている（白紙のサンプルを同封してください）
2. 健診時の問診や行動観察で見分けている
3. 発達障害の疑いのある児のための特別な健診を用意している（発達相談など）。
4. とくに対策は立てていない
5. 検討中である
6. その他の対策（_____）

Q19：3歳児聴覚健診を実施していますか。

1. はい 2. いいえ

→Q19_1：実施方法を教えてください（該当するものすべてに○）。

1. 聴覚に関するアンケート調査による一次スクリーニングのみ
2. 聴覚に関するアンケート調査と「指こすり」や「ささやき声」検査などの組み合わせ
3. 耳鼻科医の診察
4. その他（_____）

Q19_2：平成16年度有所見率（スクリーニング陽性率）は（_____）%

健診事後体制

Q23：健診事後措置についてお教えてください（業務統計等資料の添付でも結構です）。

Q23_1：乳児健診（3～4カ月児）についてお教えてください（平成16年度データ）

1. 健診受診者の年間総数（ ）人／健診対象者数（ ）人
2. 事後措置として経過観察健診を勧奨した数は年間（ ）人
うち、実際に経過観察健診を受診した数は年間（ ）人
3. 精密健診票を発行した数は年間（ ）人
4. 医療機関を紹介した数は年間（ ）人

Q23_2：1歳6カ月児健診についてお教えてください（平成16年度データ）

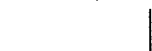
1. 健診受診者の年間総数（ ）人／健診対象者数（ ）人
2. 事後措置として経過観察健診を勧奨した数は年間（ ）人
うち、実際に経過観察健診を受診した数は年間（ ）人
3. 精密健診票を発行した数は年間（ ）人
4. 医療機関を紹介した数は年間（ ）人

Q23_3：3歳児健診についてお教えてください（平成16年度データ）

1. 健診受診者の年間総数（ ）人／健診対象者数（ ）人
2. 事後措置として経過観察健診を勧奨した数は年間（ ）人
うち、実際に経過観察健診を受診した数は年間（ ）人
3. 精密健診票を発行した数は年間（ ）人
4. 医療機関を紹介した数は年間（ ）人

Q24：経過観察健診を実施していますか

1. はい
2. いいえ



→Q24_1：実施回数ほどのくらいですか（該当するもの一つに○）。

1. 週1回
2. 隔週1回
3. 1カ月に1回
4. 2カ月に1回
5. 3カ月に1回
6. その他（ ）

→Q24_2：1回の受診数はどのくらいですか。 平均（ ）人

→Q24_3：スタッフの体制について（該当するものすべてに○）。

1. 小児科医師
2. 保健師
3. 心理士
4. 栄養士
5. その他の専門医（ ）
6. その他（ ）

Q25：親子の心理的問題に対する継続した心理相談（クリニック）を実施していますか。

1. はい 2. いいえ

- Q25_1：実施回数はどのくらいですか（該当するもの一つに○）。
1. 週1回 2. 隔週1回 3. 1カ月に1回 4. 2カ月に1回
5. 3カ月に1回 6. その他（ ）
- Q25_2：1回の受診数はどのくらいですか。 平均（ ）人
- Q25_3：スタッフの体制について、該当するものすべてに○を付けてください。
1. 心理士が対応 2. 保健師が対応
3. 必要に応じて精神科医師が対応
4. その他（ ）

Q26：育児不安や育児に問題を抱えた親に対する継続した支援をしていますか。

1. はい 2. いいえ

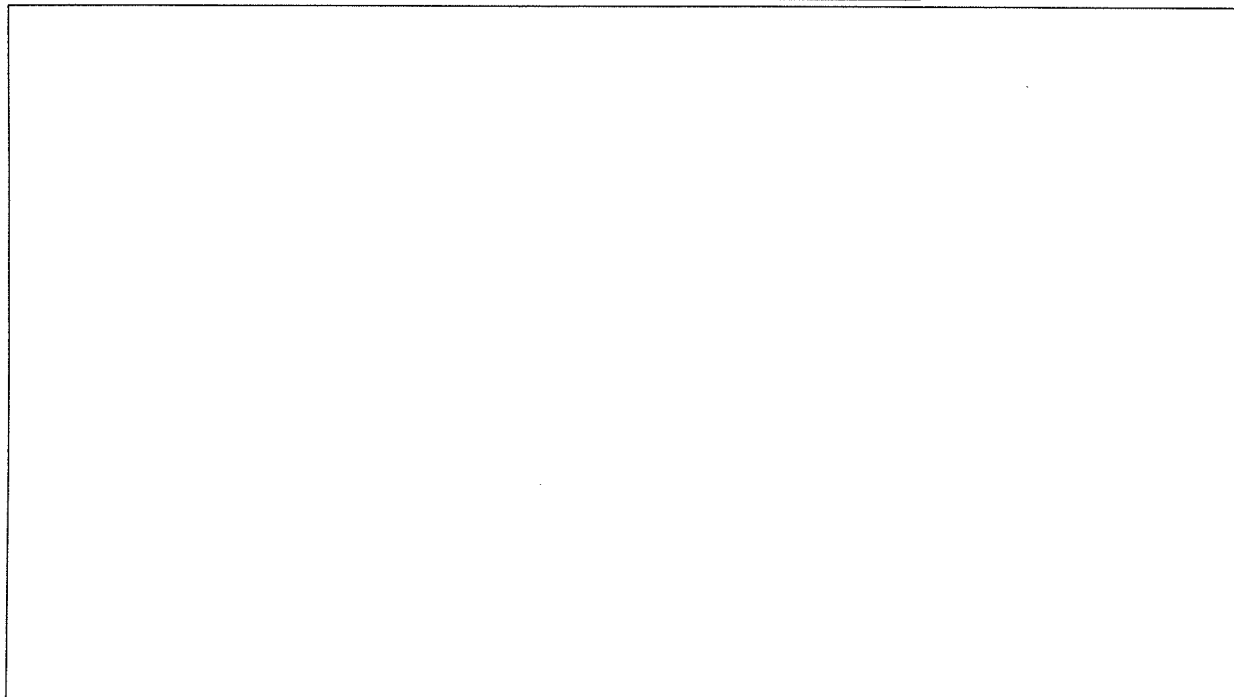
- Q26_1：実施内容について教えてください（該当するものすべてに○）。
1. 育児教室（集団指導）
2. 子育てグループや子育てひろ場など親子交流の場
3. 障害のある子どもと親の交流の場（グループワーク）
4. 不安を抱えた親を対象としたグループワーク（ピアカウンセリングを含む）
5. 精神科医師や児童精神科医師による定期的相談
6. 療育に関する定期的相談
7. その他（ ）

Q27：発達障害が疑われる子どもに対する継続した発達相談を実施していますか。

1. はい 2. いいえ

- Q27_1：実施回数はどのくらいですか（該当するもの一つに○）。
1. 週1回 2. 隔週1回 3. 1カ月に1回 4. 2カ月に1回
5. 3カ月に1回 6. その他（ ）
- Q27_2：1回の受診者数はどのくらいですか。 平均（ ）人
- Q27_3：担当するスタッフについて、該当するものすべてに○を付けてください。
1. 一般小児科医 2. 小児神経専門医 3. 児童精神科医
4. 心理士 5. 保健師 6. 保育士
7. その他（ ）

Q27_4：発達障害の早期発見とその後の対応に関する取り組みをしておられましたらご紹介ください。（リーフレットや事業報告でも結構です。ご同封ください）



予防接種について

Q31：貴市区町村または管内地域の予防接種率について把握はしておられますか（該当するもの一つに○）。

1. 把握できている 2. 一部のみ把握 3. 全くわからない

Q31_2：BCG接種は集団ですか、個別ですか（該当するもの一つに○）。

1. 集団 2. 個別



▶ Q31_2_1：接種の時期はいつですか（該当するもの一つに○）。

1. 乳児健診とセットで実施 2. BCGのみを集団で実施

地域の虐待防止ネットワーク（あるいは要保護児童対策地域協議会）

Q32：貴市区町村には虐待防止ネットワークが組織されていますか（該当するもの一つに○）。

1. はい 2. 立ち上げ準備中 3. いいえ

Q33：貴市区町村では虐待防止のための庁内組織の連携体制がありますか（該当するもの一つに○）。

1. はい 2. 調整中 3. 全くない



▶ Q33_1：運営の中心はどこでしょうか（該当するもの一つに○）。

1. 保健部門を中心に運営 2. 福祉部門を中心に運営
3. 保健・福祉部門が統合して運営 4. 担当部署を新たに設置
5. その他（ ）

健診に関するその他の事項

Q34：健診の精度管理のためのシステムが構築されていますか（該当するもの一つに○）。

1. はい 2. 検討中 3. 全くない



▶ Q34_1：それはどんなシステムですか（該当するものすべてに○）。

1. 健診担当医も参加した定期的なミーティング
2. 医師会との定期的なミーティング
3. 所内スタッフによる定期的ミーティング
4. 精度管理委員会を組織している
5. その他（ ）

Q35：健診受診者の満足度を測定していますか（該当するもの一つに○）。

1. 定期的に調査している 2. とくどき調査している 3. 全く行っていない

Q36：最後に、スタッフが個々の医師にではなく、健診担当医全般に対して一般的に抱いているイメージを以下の言葉の中から選んでください（該当するものすべてに○）。

1. 近づきにくい
2. すべてお任せするしかない。
3. 反論できない
4. 疑問の残ることが多い。
5. 参加してもらえるだけでよい
6. 親から信頼されている。
7. 親から信頼されない
8. 指示が不適切
9. 健診の意味を理解していない
10. 親の気持ちを考えない
11. 威圧的態度
12. 協調性に欠けチームが組めない
13. ほっとする雰囲気のない医師
14. 安心して任せられる。
15. 医師は個人差が大きい。
16. それぞれの医師に合わせるしかない。
17. 受け止め方が一方的
18. 他の職種と協働する姿勢がない。
19. リーダーとして優れている。
20. 親に安心感を与える。
21. 名声があり、看板になっている。
22. 説明がわかりやすい。
23. 子ども好きで親にも好かれる。
24. すべてにおいてスーパーバイザーになれる。
25. 思慮深く判断が的確

長々のご協力いただきまして
ありがとうございました。

